

フランス語スピーチコンテスト

関 未玲

今年度のフランス語コンテストは11月29日に行われ、緊張感のただようなか、総勢38名の参加者の素晴らしいパフォーマンスが披露されました。審査員は永田道弘先生、ニコラ・ダッソンヴィル先生にご担当いただき、筆者も加わらせていただきましたが、終始息を呑む1時間半となりました。今年度の課題文はイソップ物語から「カラスと水差し」の一節を朗読、ないし暗唱してもらいました。ご存知のように喉が渇いていたカラスが、嘴の届かない水差しの底に残っていた水を、頓智をきかせて口にするまでを描いた寓話です。カラスとナレーター役の2人が登場するので、1人で参加することも、ペアで参加することもできます。2年生以上の学生は、1人で覚えるには長いテキストを頑張って暗記して臨んでくれた人が多く、1年生はペアで参加する学生が多く見受けられました。審査には、フランス語の発音等にくわえてパフォーマンス力も加点されることになっていたため、カラス役の参加者は黒い衣装に扮したり、気持ちを込めて台詞が読まれるなど、随所に工夫がみられました。11月の時点では最後まで基礎文法の学習を終えてない1年生にとって、難しい表現なども含まれていましたが、何度も練習したことが感じられ流暢な発音は、感動を呼びました。

白熱する接戦となりましたが、3位には発音の素晴らしい葉柴優理恵さん、2位には臨場感溢れるパフォーマンスの草野夢華さん、そして1位には完璧な暗記で気持ちのこもった暗唱を披露してくれた藤井祥代さんが選ばれました。参加者1名1名の健闘に心からエールを送り、また来年度もぜひ皆さんの参加をお待ちしています！